



第2099回例会 5月第3週 5月16日(木)

講演会 『第8回 薬物乱用のない社会をつくるために！』

講師：NPO法人 埼玉ダルク 辻本 俊之氏

於：新座市立第六中学校



開会の挨拶 教頭 伊藤 大輔

本日は、本校薬物乱用防止教室としてNPO法人 埼玉ダルク代表辻本俊之様による講演会を実現できます事に、まずもって感謝申し上げます。

また、新座市教育委員会教育長金子廣志様、新座警察署生活安全課少年課係長内藤雅之様には、大変お忙しい中、本校までお越し頂きました。併せて、新座ロータリークラブ会長松岡昌弘様、

新座こぶしロータリークラブ会長山田一郎様をはじめ、新座ロータリークラブ並びに新座こぶしロータリークラブの会員の皆様にもお越し頂き、賑々しく本会が実施できますことに重ねて感謝申し上げます。

ただいまより新座市立第六中学校薬物乱用防止教室講演会を開会いたします。皆様宜しくお願い致します。

講演「第8回 薬物乱用のない社会をつくるために！」

日 時 2019年5月16日(木) 13時45分～14時35分

場 所 新座市立第六中学校(生徒 約613名)

〒352-0034 埼玉県新座市堀之内3丁目11番地1号 【TEL】048(478)2764

議 題 「薬物乱用のない社会をつくるために！」

講 師 NPO法人 埼玉ダルク 辻本 俊之氏

主 催 新座ロータリークラブ

共 催 新座こぶしロータリークラブ・新座市立第六中学校

後 援 新座市・新座警察署・新座市教育委員会・新座市青少年市民会議

タイムスケジュール

(敬称略)

司会進行	新座市立新座第六中学校教務主任	こばやし せいし 小林 整使
13:45 開会の挨拶	新座市立第六中学校教頭	いとう だいすけ 伊藤 大輔
挨拶	新座こぶしロータリークラブ会長	やまだ いちろう 山田 一郎
来賓挨拶	新座市教育委員会教育長	かねこ ひろし 金子 廣志
	新座警察署生活安全課少年係長	ないとう まさゆき 内藤 雅之
登壇者紹介	新座市立第六中学校教務主任	こばやし せいし 小林 整使
講師紹介	新座ロータリークラブ会長	まつおか まさひろ 松岡 昌宏
14:00 講演 演題	「第8回 薬物乱用のない社会をつくるために！」	
	講師 NPO法人埼玉ダルク	つじもと としゆき 辻本 俊之
14:35 閉会の挨拶	新座市立第六中学校教頭	いとう だいすけ 伊藤 大輔
*登壇者(紹介のみ)	新座ロータリークラブ幹事	すずき あきこ 鈴木 明子
	新座こぶしロータリークラブ幹事	か げ としひさ 鹿毛 利久
	新座ロータリークラブ青少年奉仕委員長	おおつか ゆうぞう 大塚 雄造



埼玉テレビとジェイコムニュースの取材を受け夕方のニュースで放送されました
市民新報社も取材に来て頂きました

開催の挨拶

新座こぶしロータリークラブ 会長 山田一郎



私達は新座ロータリークラブと新座こぶしロータリークラブと申しまして新座市内に於いて奉仕活動をしている2団体です、活動は市民祭でこども広場での交流・交通安全・福祉フェスティバルでの交流や、今回の薬物乱用のない社会をつくるために！等の他に、世界に向けては日本の大学生がアメリカやヨーロッパの大学への留学援助や学費の援助、また「世界の国」に於いてはネパールでの小中学校の建設・井戸づくり等の支援をしている全世界各国にネットワークのあるロータリークラブの奉仕団体です。

本日は、第6中学校の613名の皆さんに「薬物乱用のない社会をつくるために！」という講演をお聞きして頂きます。

法律で禁止されている薬物の恐さ、なぜ怖いのかの理由がわかると思います。実体験した講演者の方の生の声をお聞きし・自分は・使わない・買わない・近づかないを「今から・ここから・自分から実行をする」という誓いの場にして下さい。

今日の薬物防止の話を聞いて「自分自身の為になり」「話を聞いてよかった」と思う人が増え、やらない・近づかないを実行してくれることを期待いたします。

中学生613名の皆様、自分自身の為に真剣に講演をお聞き下さい。宜しくお願い致します。以上開催のご挨拶といたします。



来賓の挨拶

新座市教育委員会 教育長 金子 廣志



本日は、中学生のための薬物防止教室を開催頂き、誠にありがとうございます。

新座ロータリークラブ・新座こぶしロータリークラブの皆さんに、心より感謝申し上げます。

本日は、NPO法人 埼玉ダルクの代表である辻本俊之氏をお迎えしての講演を頂きますが、薬物は年を重ねるごとに低年齢化していると言われています。中学生が薬物を所持していたというニュースに接することもありました。こうした状況の中、薬物汚染の残酷さを体験している方に講演を頂くことは大変貴重であります。第六中学校の皆さんは、今日のお話を他人事と捉えずに、真剣に耳を傾けて頂きたいと思います。

新座警察署生活安全課 少年係長 内藤 雅之



ただ今、ご紹介頂きました新座警察署生活安全課少年係の内藤と申します。私からは、警察としての立場から、お話させて頂きます。

まず、薬物について、未成年の逮捕者のうち、約7割が「友達から誘われた」という理由で、使用してしまっています。「少しならいいかな」「ノリが悪い」「仲間外れにされたくない」等の気持ちから、薬物に手を出してしまいます。もし皆さんがこの先、薬物使用に誘われたとしても「断る勇気」を持って下さい。たった一度が取り返しのつかないことになり、一生を台無しにしてしまいます。また、薬物の効果で「元気になる」

「眠くならない」「痩せる」等の甘い言葉がありますが、決してそのような効果はなく、薬物の効果が切れれば、その分の眠気が襲ってきますし、食欲がなくなるだけで、健康的に痩せたものではありません。詳しい話はこの後の辻本先生の講演がありますので、よく聞いて、自分の知識として蓄えて下さい。これから夏休みを控えていますので、事件事故に遭わないよう警察も尽力しますので、皆さんも十分に気をつけて、学校生活を送って頂きたいと思います。

講師紹介

新座ロータリークラブ 会長 松岡 昌宏



皆様こんにちは。新座ロータリークラブ会長の松岡と申します。これから講演して頂きます、辻本俊之さんをご紹介します。

辻本先生は現在、NPO法人埼玉ダルクの施設長をされております。DARCとは、Drug Addiction Rehabilitation Center（薬物依存厚生施設）の頭文字をとった組織です。不幸にも薬物依存に陥ってしまった患者さんの厚生を支援する施設です。

本日は、先生の実体験も含めて、どのような状況から薬物依存に走ってしまうのか具体的な体験談をお話し頂きます。皆さん、今日のお話は決して他人事ではありません、そこら中に危険な世界が口を開けて待っていると言うことを肝に銘じて、この講演を聴いてください。それでは辻本先生宜しくお願い申し上げます。

謝辞 教頭 伊藤 大輔

<http://www.niiza-rc.jp>



辻本俊之様、本日はご講演ありがとうございました。みなさんには何が残りましたか。具体的なお話を聞いて、薬物の恐ろしさを心に映像として思い浮かべ、捉えることができたのではないのでしょうか？

薬物の違法性、危険性についてはこれまでも多くのことを見聞きしてきたことでしょう。

大麻、覚醒剤、MDMA、コカインなどの薬物は私達にとって大変身近な存在になっています。しかし買うこと、使うこと、売ること、譲ることは勿論、持っているだけでも逮捕されます。

では、法を犯すことに近づくから薬物は恐ろしいのでしょうか？ちがいます。薬物は**自分の命**を危険にさらしたり、周りの人を傷つけたり、傷つけられたりする犯罪の原因になるのです。

夜回り先生こと水谷修先生は著書にこんなことを書かれています。「薬物は人を三回殺す。一度目は『心』を殺す。薬を手に入れるために信頼、友情、愛情、優しさなどを殺す。二度目は『頭や人格』を殺す。頭の中は「いつ、どこで、誰と、どのように使うか」しか考えられなくなる。そして三度目はついに『あなたの命』を絶つ。薬を使い始めると行き先は3つしかない。一つ目は刑務所か少年院。二つ目は檻の付いた病院の中。そして三つ目は土の中。

「絶対ダメだ」と叫んでもなくならない薬物依存は社会が生んだ大きな病です。あなたの側にも、いつ誘惑の手が近づいてくるかもしれません。

そのときこそ「絶対ダメだ」と遮断する強い意思を発動してください。まっすぐあなた自身と向き合ってください。本日は、実体験にもとづく真に迫るお話を頂きありがとうございました。

新座ロータリークラブ事務局

〒352-0001 新座市東北2-25-11-406

電話 048 (473)7041

FAX 048 (473)9221

Eメール niiza.rc@dance.ocn.ne.jp

国際ロータリー第2570地区 新座ロータリークラブ